

歴博くらしの植物苑だより

くらしの植物苑でも小・中学生が無料になります。毎週土曜日は高校生も無料になります。

季節の伝統植物 『伝統の桜草』

4月15日(火)から5月6日(日)

15日は展示プロジェクト委員による展示解説が

13:30からあります(参加自由)

日本桜草の苗の有償頒布を15日(火)から行います。

時間は9:30~12:30まで、1鉢500円。売り切れごめん

くらしの植物苑観覧会 くらしの植物苑東屋 13:30~

4月29日(火) 歴博みどりの日 入苑無料

『新緑の城址公園を歩く』 中川重年 (本館研究部客員教授)

5月24日(土) 『身近な山菜』 中川重年 (本館研究部客員教授)

今咲いている花: ヤマモモ、ヒサカキ、サンシュユ、カンヒザクラ、ヤブツバキ、カツラ、アブラチャン、アンズ、モモ、イロハモミジ、カヤ、シロシキブ、ニワトコ、ボケ、ハクモクレン、シャガ、ユキヤナギ、イチイ、アマナ、ハラン、シュンラン、ダイコンソウ、バイモ、リンゴ椿、椿：雲竜椿、紅唐子、プリンセス雅子、明石潟



アケビ (アケビ科アケビ属)

山野に普通の雌雄異花の落葉つる性木です。掌状複葉で小葉は5枚。雄花は小さく6本の雄しべと退化した6本の雌しべを持ちます、雌花のほうが大きい。写真のアケビはシーボルトチルドレンと言って、シーボルトが日本から持っていったアケビの子どもです。

英：Akebi, 中：木道といいます。



ミツバアケビ (アケビ科アケビ属)

山野に普通の雌雄異花の落葉つる性木です、掌状複葉で小葉は3枚。アケビに比べると花は小さい。つるはアケビ細工に使われます。中：三葉木通といいます。



アセビ (ツツジ科アセビ属)

風当たりの強い乾いた山地に生育する常緑低木です。壺形の白い花たくさんつけます。牛馬が食べると中毒を起こすので馬酔木との名があります。

英：Japanese Andromeda といいます。



クロモジ (クスノキ科クロモジ属)

雌雄異株の落葉低木で、小枝の樹皮上に黒斑がみられることからクロモジと呼ばれた。材には芳香があり、楊枝に用いられる。また民俗事例からクロモジは神を祭るための祭りの木であったといわれている。左の写真が雄株、右が雌株です。中：大葉鉤樟と言います。



コクサギ (ミカン科コクサギ属)

東アジア特産で1属1種です。葉は単葉で1列に2枚ずつ葉をだしています。上は雄株で総状花序が満開です。下は雌株で注意しないとよくわかりませんが花が咲いています。



フッキソウ (ツゲ科フッキソウ属)

第三紀周北極植物群の遺存植物の1つと考えられています。山地のやや湿った樹林下に群生します。穂状花序で花弁はなく淡緑色の4枚のがくがあります。雄花にはめだつた白い4本の雄しべがあります、雌花は花序の基部につき、2本の雌しべが見えます。中：富貴草と言います。



モモ (バラ科サクラ属)

中国や日本で古くから栽培されている落葉果樹です。モモは果実には毛があるかどうか、核から実が離れやすいかどうか、また樹形などで分類されています。英：Peach 中：桃と言います。



ニワウメ (バラ科サクラ属)

観賞用に栽培される落葉低木です。葉と同時に葉腋に3個くらいの花をつけます。花は小形で花弁は5枚、たくさんの雄しべがあります。八重咲のものはニワザクラと呼ばれます。英：Japanese Bush Cherry、中：郁季と言われます。

